

季
刊

白雲

弁護士 伊藤茂昭

直通電話 / 03-6212-5503 Eメール / shigeaki.ito@city-yuwa.com
URL / http://www.shiroikumo.jp

シティユワ法律事務所 CITY-YUWA PARTNERS
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2丸の内三井ビル7/8階
Phone:03-6212-5500 Fax:03-6212-5700

2004 8 August

2004年夏号 (通刊52号)



今年の暑さは何ぞんじょ!!
残暑お見舞い申し上げます

写真は4月のハワイ。
東京弁護士会・法友会執行部旅行で撮影。
カメラをもっていかず、現地のコンビニで使い
捨てカメラを購入し、それで写してみたもので
すが意外と撮れるものですね。

伊藤茂昭

< 今号の記事 >

あなたも裁判員.....	2
足利銀行・元役員を提訴.....	2
伊藤茂昭の「ちょっと行きたいお店」青山 さくら	2-3
「LitigatorとBusiness Lawyer」佐藤 恭一 弁護士	3
「多才なマルチ弁護士」佐藤 恭一 弁護士 紹介	3
ほっとひといき Human Link Corner	
「ジョン・レノン・ミュージアム」.....	4
お気軽にどうぞ 事務所へのご案内	4

あなたも裁判員

日本でも、一般の人が刑事手続きに関わる裁判員という制度ができました。重い罪の刑事事件ですが、有権者の中からくじで選ばれたあなた自身が職業裁判官と一緒に議論を行って、判決に関与するのです。アメリカなどの陪審と異なるのは陪審は陪審だけで有罪か無罪かを決めるのに対し、日本の新しい制度は裁判官と裁判員の合議体で、有罪無罪、量刑のいずれをも決定するという点です。この制度は5年後に開始されます。職業裁判官のみの裁判制度の中で育った私たちは、民主的司法制度にはなじみがなく、とまどうことも多いでしょう。また責任の重さに逃げたくなることもあるでしょう。この制度を生かすかどうかを決めるのは私たち自身です。みんなでこの制度がうまく機能するよう考えていくことが必要と思います。

足利銀行を提訴

8月3日、足利銀行の株式購入者を原告団とする訴訟を宇都宮地方裁判所に提起しました。被告は、足利銀行・足利銀行元役員・監査法人です。悪化している業務内容を隠蔽して、虚偽の財務諸表を公表し、それを信じた投資者から1999年と2002年の二度にわたって、優先株、普通株の出資をさせたといいものです。株

式の購入自体の支払いを損害として、その賠償請求を求めています。当時の足利銀行とその役員の経営責任を問わずして、この問題の解決はありません。第二次訴訟も続きます。この訴訟以外に別の原告団が国を被告とする訴訟を提起しています。どうぞ今後の双方の訴訟の展開にご注目いただきご支援下さい。



裁判所入る伊藤・棚村・人見・太田の各弁護士と原告団（左） 栃木県庁で記者会見する伊藤と原告団（右）
<写真提供：下野新聞>

伊藤茂昭の今年の活動

- <訴訟事件弁護団（主任・団長）>
- ・サブリース最高裁上告審の最戻し審が三件 / 東京高裁に継続中
 - ・足利銀行に対する損害賠償請求事件を提訴 / 宇都宮地裁
 - ・眺望権訴訟控訴審 / 札幌地裁

事務所での仕事に励んでいます。

- <日本弁護士連合会>
- ・隣接土業委員会委員長
 - ・知的財産政策推進本部副本部長
- <弁護士政治連盟>
- ・本部副幹事長
 - ・東京本部幹事長

伊藤茂昭の「ちょっと行きたいお店」

青山さくら AOYAMA SAKURA



渋谷に向かって、高樹町を日赤方面（左折）して、すぐ右に小体な洒落た雰囲気割烹が目に入ります。ここが「さくら」です。お店に入ると小体どころか広々とした空間があります。奥に4つの座敷、中央には12人はたっぷり座れるラウンドテーブルが2つ通りに面した空間には落ち着いたカウンター（7名）と広いラウンドテーブル（季節によってはオープンテラス風に）、広がりの中にも、やはり「小体」という名詞が似合うお店です。

設立は1983年と歴史もあり、季節の旬のものを創作風に出してくれて気に入って通っています。私が最初にお邪魔したのは、12、3年前でしょうか。たしか宝塚のどなたの紹介だと記憶しています。女将のみやさんとこうした宝塚の面々を通して仲良くなって今日にいたっています。

料理も、ながいもそうめん、海老しんじょ、食後のさくらアイスクリーム（フレーザー）でお酒のみにも評判





Litigator と Business Lawyer

シティユーワ法律事務所 パートナー
弁護士 佐藤 恭一

アメリカの弁護士は、訴訟や紛争処理を専門とするlitigatorと

契約書の作成等紛争以外の分野に関与するbusiness lawyerに二分されています。日本では大半の弁護士が前者で、後者は少数で、しかも国際案件を取り扱ういわゆる渉外弁護士が殆どでした。渉外弁護士は、国際間の契約の締結やファイナンスや証券化等大規模なプロジェクト等を扱いますが、あまり訴訟や紛争処理の経験を持っていないのが通常

です。そして日本もまた後者が増えつつあり、アメリカのように二分化しつつあるように見えます。

私は、国内の紛争処理を専門にする事務所で5年ほど実務を経験した後、アメリカに2年間留学しましたので、国内の紛争処理や企業法務を中心にしながらも、国際間の契約案件や民事紛争の処理にもあたっています。このように、基本的にはlitigatorですが、business lawyerの仕事もしており、また国内の事件も国際案件も扱っていますので、二

重の意味で両棲類的な活動をしていることになります。

一方、労働、知的財産権、倒産、独禁法、海事、医療過誤等の分野の相談・事件処理についても積極的に取り組んでいます。そのそれぞれにおいて、訴訟・紛争解決の分野と、契約・国際関係の分野の双方の経験が生きているように思います。これらの分野のご相談についてはいつでも積極的に対応させていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

「多才なマルチ弁護士」 パートナー 佐藤恭一弁護士をご紹介します。

弁護士 伊藤茂昭

同期の佐藤恭一弁護士とは、法友8部（春秋会）という東京弁護士会の会派で知り合いました。同弁護士は、東大在学中は、授業にはほとんど出ず、専らヨット部で活動し、卒業後は商船三井に就職、5年半で退職して司法試験に挑

戦という経歴です。現在は同社の監査役で、海事補佐人の資格も有し海難事件も扱います。国内事件を処理しつつ、海外留学も経験、内外の紛争処理と国際契約の両方できる数少ない弁護士です。労働事件や知的財産権、倒産案件

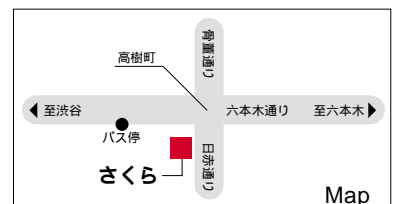
等専門化している分野も意欲的に手がけ、私もいくつかの事件を手伝ってもらっている頼りがいのある弁護士です。多才なマルチ弁護士ですが、温厚で誠実な人柄は誰からも信頼されています。

の逸品です などなど、枚挙にいとまがありませんが、焼酎の品揃えはお見事です。なかなか入手の難しい鹿児島芋焼酎の名酒、森伊蔵をはじめ、しそ、こんぶ、さらには、焼き芋と種類も豊富なのです。これを店内狭しと置かれている各種グラスで思いのまま楽しむのです。

お休みは、日曜のみで休日も営業しています。ランチは11:30～13:00、夜の営業は18:00からでお客様がいらっしゃるればお帰りになる時が閉店時間。

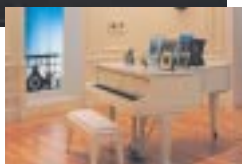
スポーツ選手や芸能人も多く顔をだします。

最寄り駅は、六本木か表参道。この方面にお出かけの際は、是非ご予約の上、お立ち寄りいただきたいお店です。



さくら

営業時間：6:00p.m.～1:00a.m.
定休日：日曜日
東京都港区南青山7-10-10
TEL: 03-3409-8683



ジョン・レノン・ミュージアム



ビートルズが来日したのは、私が高校生の時でした。その後、ジョン・レノンは20世紀最高のロックスターとして世界の多くの人々の心に訴え続けてきました。彼は40才の若さで凶弾に倒れ、生涯を終えてしまいましたが、夫人のオノ・ヨーコさんの手許には多くの遺品が残されました。

2000年10月、ジョンの愛用したギターをはじめ衣装や直筆の作詞原稿等、夫人の秘蔵品を展示するミュージアムがオープンしました。副館長の渡辺正利さんは、私の友人で高校の同級生、

当時からビートルズの大ファンでした。彼は大学卒業後大成建設に入社し、今に至ります。

私の従兄弟の子田征基さんは大成建設の副社長をしていました

が、このミュージアムを運営する会社の役員も兼任していました。そして今、このミュージアムの館長は私の高校の二年先輩の水沢さんです。ミュージアムにはここでしか入手できないオリジナルグッズがそろったショップ。晩年ジョンが避暑用の定宿

としていた軽井沢万平ホテルが運営するカフェも設けられています。場所は、JRさいたま新都心駅のすぐ前、是非一度お出かけください。



お問い合わせ ジョン・レノン・ミュージアム
〒330-9109 さいたま市中央区新都心8番地
TEL 048-601-0009 (代表)
<http://www.taisei.co.jp/museum>

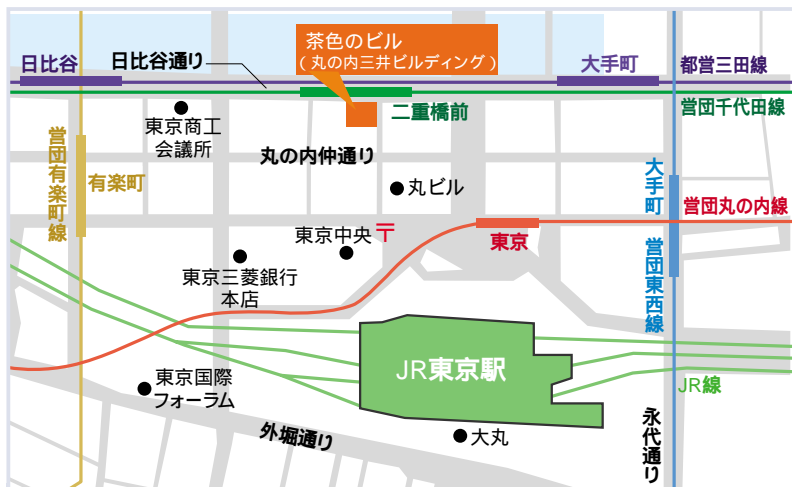
お気軽にどうぞ

昭和58年、一人で伊藤茂昭事務所を新宿駅南口に開業して以来、弁護士の増員と合併により、日本のベストテンの事務所に発展してきました。合併によって大規模化したことにより、国際関係を多く扱う事務所のイメージをもたれることが多くなりましたが、私の古くからの依頼者や友人・知人の方たちはよくご存じのように、私自身は国内事件・訴訟事件を扱ってまいりました。特に不動産・建築・相続事件は、私の三本柱です。また若手の弁護士も私と一緒にこれらの事件に熱心に取り組んでいます。これからも親しみやすい親切な弁護士であり続けたいと考えていますのでどうかよろしくお願いします。

事務所は東京駅丸の内南口より約2分の至近距離。丸ビル・丸の内仲通りに近く、グルメやショッピングを楽しめるオフィス街の一角です。どうぞお気軽にご連絡下さい。

伊藤 茂昭 mail to shigeaki.itoh@city-yuwa.com
URL:<http://www.shiroikumo.jp>

事務所へのご案内



地下鉄千代田線二重橋駅4番出口から0分
地下鉄丸の内線東京駅より約2分
JR東京駅丸の内南口から約2分
お嬢にそった(日比谷通り沿い)の茶色のビルです。

編集後記

中村勘九郎一座のニューヨーク公演、アテネ・オリンピックでのシンクロナイズドスイミングでの演技など、歌舞伎が世界の注目を浴びています。古典演芸として、国家の庇護を受けるどころか、新たな挑戦を続ける(影響を与える)梨園の姿

に感慨深いものを感じます。司馬遼太郎さんの「いったんうらぶれてしまえば、普遍性をうしない、後退して特異なもの(文化のこと)になってしまう」は、けだし名言だと思います。私たちも頭の中が錆びないようにがんばりたいものです。

編集担当：橋本行雄 (IMA)

季刊「白い雲」通刊52号

発行人：伊藤茂昭
編集人：伊藤茂昭
シティユワ法律事務所
東京都千代田区丸の内2-2-2
丸の内三井ビル7/8階 〒100-0005
Phone: 03 (6212) 5500
Fax: 03 (6212) 5700

Editing by IMA Co., Ltd.
Printing by Kamiya Printing Co., Ltd.